

工学研究科・工学部意見箱回答用紙⑤

【タイトル】 工学研究科内における分析装置の相互利用促進に関する提案

【意見・要望】

工学研究科内にどのような分析装置がどの研究室・研究所にあるのかを知り、できれば活用したい。このようなことができる仕組みを作ること、従来よりも迅速にかつ独創的な研究を進めることができると考える。さらに、工学研究科内における研究室間のつながりも強化され、新たな研究やイノベーションが生まれる可能性も考えられる。

【改善に向けた具体的提案】

工学研究科のホームページなどで、どの分析装置がどの機関にあるのかを公開し、装置の使用を交渉できるようにする。ただし、受け入れる研究室・研究所の負担増が予想され、受け入れ数の制限や金銭的な補償などの仕組みを作ること、この点について十分に考慮する必要があると考えます。

投稿内容公開の可否

該当口にチェック

可 否

【担当部署からの回答】

貴重なご意見誠にありがとうございます。

工学研究科では「マイクロ・ナノマシニング研究教育センター」「技術部 合同分析計測班」において設備の共同利用を行っております。また、東北大学全体としては「テクニカルサポートセンター」において設備の共同利用を行っております。まずは参考までに下記 HP をご案内致しますのでご確認いただけますでしょうか。よろしくご依頼致します。

テクニカルサポートセンター：<http://tsc.tohoku.ac.jp/>

技術部 合同分析計測班：<http://www.tech.eng.tohoku.ac.jp/sosiki/goudou/index.html>

マイクロ・ナノマシニング研究教育センター：<http://vbl.mech.tohoku.ac.jp/>

回答部署 経理課物品調達係

回答日 H28.8.10